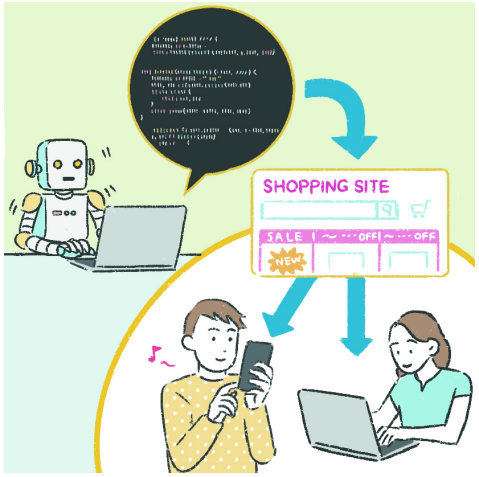
P07

生成AIと開発プロジェクト情報解析を組合せて、ユーザ要望を短期間で反映するサービス開発を実現します

tsuzumiの未来の提案：超高速なサービス開発を支える技術

IOWN Pick Up　NTT版大規模言語モデル



背景

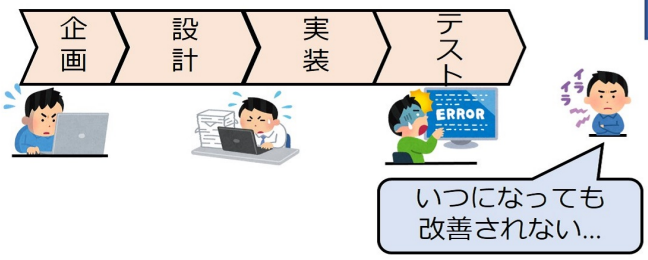
ユーザニーズが多様化するなか、サービス開発は曖昧なニーズを機械可読なコードへ落とし込む非定型作業が多くを占めます。そのため、機械化には限界があり、結果として、ユーザ要望を反映したタイムリーなサービスリリースが難しい状況です。

成果の概要

生成AIの自然言語を理解する能力と開発プロジェクトにおける情報を解析する技術を組み合わせて非定型作業を自動化することで、人の作業は指示・評価・承認が主となり工期短縮が可能となります。これにより、ユーザ要望を短期間で反映してサービスリリース可能とします。

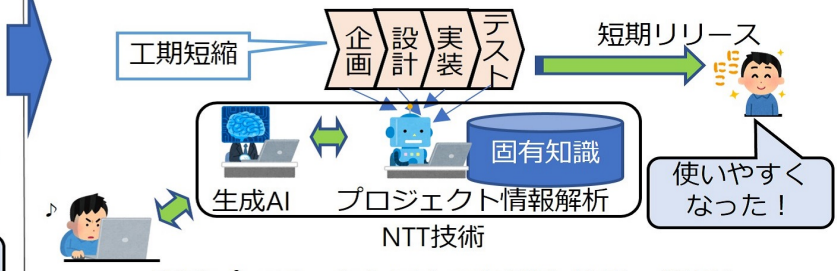
Before：これまでのサービス開発

ユーザニーズが多様化するなか、サービス開発は曖昧なニーズを機械可読なコードへ落とし込む非定型作業が多くを占め、機械化には限界
➔ユーザ要望のタイムリーな反映は困難



After：生成AIを用いた未来の超高速サービス開発

生成AIの自然言語を理解する能力と開発プロジェクト情報解析技術を組み合わせて非定型作業を自動化することで、人の作業は指示/評価/承認が主となり、工期短縮が可能
➔ユーザ要望を従来より短期間で反映してリリース



開発プロジェクト固有の知識を抽出・解析し、生成AIと連携させて非定型作業を遂行

技術のポイント

- 開発プロジェクト固有の知識を抽出・解析し、生成AIと連携させて非定型作業を遂行
- テスト活動データなどサービス開発者の活動をデータ化・解析し、その知見を活用
- 生成AIが生成したコードの脆弱性を自動修正

この研究がもたらす未来

サービス開発において、ユーザーフィードバックを短期間で反映してリリース可能とします。これにより、ユーザへの迅速な価値提供を可能とし、高い競争力を確保します。

出展企業

日本電信電話株式会社、株式会社NTTデータグループ

問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com

Copyright © 2023 Nippon Telegraph and Telephone Corporation/ NTT DATA Group Corporation All Rights Reserved.